



2019年7月

使用上の注意改訂のお知らせ

選択的セロトニン再取り込み阻害剤

セルトラリン錠25mg「科研」 セルトラリン錠50mg「科研」 セルトラリン錠100mg「科研」

Sertraline Hydrochloride Tab.

塩酸セルトラリン錠

このたび、標記製品の「使用上の注意」を以下のとおり改訂しましたので、お知らせいたします。今後のご使用に際しましては、本改訂内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

■改訂内容（ _____ : 改訂・追記部分）

| 改訂後 | | | 改訂前 | | |
|--|--|------------------------------------|--|--|------------------------------------|
| 【使用上の注意】 3. 相互作用 省略（変更なし） (1)併用禁忌（併用しないこと） | | | 【使用上の注意】 3. 相互作用 省略 (1)併用禁忌（併用しないこと） | | |
| 薬剤名等 | 臨床症状・措置方法 | 機序・危険因子 | 薬剤名等 | 臨床症状・措置方法 | 機序・危険因子 |
| MAO阻害剤 セレギリン塩酸塩（エフピー） ラサギリンメシル酸塩（アジレクト） | 発汗、不穏、全身痙攣、異常高熱、昏睡等の症状があらわれることがある。 なお、MAO阻害剤の投与を受けた患者に本剤を投与する場合、また本剤投与後にMAO阻害剤を投与する場合には、14日間以上の間隔をおくこと。 | セロトニンの分解が阻害され、脳内セロトニン濃度が高まると考えられる。 | MAO阻害剤 セレギリン塩酸塩（エフピー） | 発汗、不穏、全身痙攣、異常高熱、昏睡等の症状があらわれることがある。 なお、MAO阻害剤の投与を受けた患者に本剤を投与する場合、また本剤投与後にMAO阻害剤を投与する場合には、14日間以上の間隔をおくこと。 | セロトニンの分解が阻害され、脳内セロトニン濃度が高まると考えられる。 |
| (省略、変更なし) | | | (省略) | | |

■改訂理由

同一成分薬の使用上の注意の改訂に伴い、自主改訂により「併用禁忌」の項を改訂いたしました。



科研製薬株式会社

- ・ 今回の改訂内容は、「医薬品安全対策情報（DSU）No.281」（2019年7月）に掲載されます。
- ・ 改訂後の添付文書は、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」（<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>）及び弊社ホームページ（<http://www.kaken.co.jp/medical/index.html>）でご覧いただくことができます。
- ・ 流通在庫の都合により、改訂後の添付文書を封入した製品がお手元に届くまでには若干の日数を要しますので、今後のご使用に際しましては、本改訂内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。



発売元
科研製薬株式会社
東京都文京区本駒込2丁目28-8

DAITO

製造販売元
ダイト株式会社
富山県富山市八日町326番地